



発行所 伊藤隆次
印刷所 常新報社
日刊部 常新報社
日刊部 常新報社
一冊二錢 一月三十錢
廣告料 一行 五十錢

印刷所新設に就て

長らくの休刊のお詫びを

陣痛二ヶ月、深刻な生みの苦みを経て常新印刷所が誕生した、小社が印刷所新設を以て約二ヶ月に垂れんとする今日、然も日支事變の一周年紀念日の今日、漸く誕生發刊の運びとなつた事は非常時局に當面せる新聞報國の職責に一段の緊張を自覚せしめらるるものがある、今や國を擧げての長期戦に戦線と戦後が一丸となり、将介石、蔣、東洋平和を目標して、奮然と進んでいくの秋、本社は誕生の意氣に燃えて、誠私奉公、報章陣にまい進するの覚悟たる事を敢て一言するものである、本紙印刷所新設に對して格別の御高配を添へる後援者各位に對して萬この謝意を表し、而して高恩に酬ゆべく努力をいたす存意を表明するものである、最後に一言申述べたい事は印刷所新設早々にて總ての設備不完全の爲め記事、体裁、その他不備の點は多々あるべく、この點は日を追ふと共に改善に努力を拂ひ當分の處は平に御寛容を願ふ次第である、暫くの休刊を御詫び申し上げ印刷所新設と共に更生せる本紙の御挨拶とするものである

市民的銃後心強調

平市の事變記念日

記念日の平市は午前十一時から各種團體及び市民が縣社子鐵倉神社に戦歿勇士の追悼並に皇軍の武運長久祈禱をこめ正午には一分間の黙禱をなした、又一葉主辦と一月一品の廢物獻納を實行し、蠟燭屋組合では蠟燭を公体せしめ料理屋組合でもさう業した

戦死者墓参

その他

小名濱小學校 小名濱では朝會において宮城遙拜、国旗掲揚、校長訓話をなして學童に記念日を深く刻み込み更に學級訓話 戦死者墓参 國体けん線

事變記念日を迎へ

銃後の決意を昂揚

一、主義實行と廢品獻納
正午には一分間黙禱

休山の隅田川坑

けい解雇者を發表

八百名中五百五十名

平署長着任

けい換り
長屋を無料貸與の上古河縣警署署長から榮轉した新及日小田の兩職に兼任平署長本出治郎氏は、り向けれど残留の二百五、ん六日初登壇をなし各々方面十名は小田氏經營の附近へ換りしした。

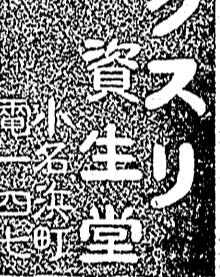
何時晴れるか?

小名濱 觀測所
視所空の打診
平局では記念日の今七日特
殊通信日附印を使用した、月
十一日乃至は十二日から現象
も、しかし一度は月一ヶ月は
有るが氣象は雨模様をよつれ
此間に學的から論ずる梅雨期
間は時化又は大あめ或いは雷
のりわけではない、その年の
るとは周知の様である、
氣壓の配置に依り年によつて
同様の様にとつても先
同様の様にとつても先
同様の様にとつても先

小名濱港鎮臺

林警部補着任

林警部補着任
浮浪出所から榮轉の小名は
十圓)は來る十一日全額
支拂の由 警部補出所長林真氏は
廢坑の撤退に見舞はれた六日着任した。



以上の郵便切手にも消印の需に應ずる

北山外科

平市新川町(電話四六四番)
診察晝夜
入院隨時
【血液検査毎日】
技師 三浦常保

内臓外科 レントゲン科
肛門病科 皮膚病科
花柳病科 泌尿器科

小松洋服店

平市才徳小路十二
小松 正治

森合齒科

院長 森合 芳男
電話植田七十一番

皇恩會 平市才徳小路十二
小松 正治

口腔外科 齒科一般

巻の聲

組と行動が戦線に苦とうを
追ける將兵と同分最迄に緊
迫して居るや否や、物、心
の動員は切なるものがある
である、飽迄勝ねばならぬ
國を賭けての大勝負なので
ある。

あつたが休刊の爲め筆を封
じられた事は淋しき事の一
つであつた、寢ずに仕事を
しても遊ぶよりは仕事の方
がどんなに生甲斐あるかを
感々感じさせられた、働く
ものの幸福よ、莫大の資産
を擁し、寢喰する人の無聊
を思へば壯健にして働き得
る幸福を滿喫する事が出来
る、今日からは又、目の色
を變へて一生懸命に駆廻る
事にする、休刊中に豊岡村
長鈴木藤治郎氏、湯本町長
石川徳壽氏の逝去は意外の
突發痛恨事であつた、日支
事變も第三期戦に入り漢口
陥落も目途に迫つた事に日
本國民として等しく快哉を
覺ゆると共に出征將士の勞
苦に對しては襟を正して感
謝の意を表するものである
先日の大時化は小名濱商港
の存在を認めざるの暴威を
恣にした、商港完成して竣
工式の甘味を覚めざる時、
この實状を見て町民は何と
思ふか、一つの宿題として
良き答案を作る事に日數を
借すべし、日本水素工業の
工事は着々と進捗す小名濱
の一角に鐵塔が林立す興隆
小名濱の表徴である、世人
は斯く言ふ、今次の水魔は
國民の心緩ゆる心を引締め
る爲めの天の配劑である、
然り國民精神總動員の叫び
中に眞剣に國民總動員の心

組と行動が戦線に苦とうを
追ける將兵と同分最迄に緊
迫して居るや否や、物、心
の動員は切なるものがある
である、飽迄勝ねばならぬ
國を賭けての大勝負なので
ある。

祝常磐印刷所新設

日本水素工業株式會社

技師長 杉原精

小名濱町會議員
海岸軌道支配人

西丸猛

土木請負業

三崎組頭 太田勝康

鈴木齒科醫院

院長 鈴木正

銘酒「清世界」吟釀

清水屋本店

小名濱町中島通り
電話 六番

金物銅鐵一切

磐城セメント特約代理店
三井生命保險平代理店

釜屋商店
電話 九番 九九番
振替口座一〇九五六番

各家庭の皆様へ

臨時に御手不足の際は本會へ御申
込み下さい、病人の看護御産の御手
傳難婦に至る迄一日でも一週間で
も御隨意に派遣致します

久保田家政婦會

産婆久保田イネ
電話 二十二番

宅扱と小口扱貨物は

磐城海岸軌道線指定

小名濱運送株式會社

小名濱本社電話 二六番
泉驛出張所電話 十五番
江名濱出張所電話 三六番

常磐新聞社